



おかむら通信 第 113 号

平成 26 年 9 月

ごあいさつ

8 月は、全国で、大変なことがおきました。皆様の耳に目に飛び込んだ事件、天災、病気、世の中の不祥事は、我々に天が何かを警告しているような、気もしますもっと目を覚ませ、けなしあったり、こぜりあったりせずに、お互いに人同士、愛し合い、尊敬しあいなさい、とされているような気がしませんか？

ガンジーは、核（原子爆弾）が日本におとされたとき、絶対にやってはいけないことを人類は、やってしまった、アインシュタインは、私の人生の中で唯一の大失敗であり、本当に申し訳ない、と述べたそうです。人間が持つ「悪」の面が最近、日本を含め、世界で突出し始めています。

今月の言葉コーナー

「仏眼仏目」

仏がもつ目のように真実を見極める

身延山 定林寺院首 功刀 貞如さん

今の時代において、われわれ国民にとって、自分の目にみえるものだけでなく、見えないものの中から、何が本物かを見抜き、個々の大切な人生を生き抜く姿勢が問われているのではないのでしょうか？

病気について

① 慢性心不全

長く当院に通院されておられる方々で高齢になるにつれ、体力などの低下もあわせ、全身の臓器が徐々に弱られて、それが目に見えない状態で出現しはじめてきているのが、最近感じられます。その臓器不全の一つが、心不全です。血液で BNP 検査などが有用で、早期の病態やその病期を判断することができます。

② 診療における、各疾患のとらえ方について 世界観から

マレーシアにいて、主に 2 つの考え方に、私が感じている共通の考えがあることに驚きました。おそらくこの日本では、どの病院においても前面に出すことはない点です。

*目の前に患者さんがいらっしゃった時に、まず、医師が感じなければならないこと、患者さんが思いもしない、まったく自覚症状がない、え..、そんなはずは..、と絶句してしまいそうなレベルで、隠れている疾病・今後起こりうる病気・過去に起きていて患者さんが自覚していない病気、そしてこのままいけば、命がけになりそうな疾患群を、患者さんが来た瞬間から予測し、きわめて速く、それを見つけること (early detection)。

*世の中の、体の弱い、具合の悪い方、障害者の方、脳性まひ、蒙古症 (モンゴリズム)、うつ病、躁病、自閉症、学習障害、その他あらゆる精神疾患に対する医療者の診

療姿勢；家族を含む受療者側も施療者側も、偏見や、差別意識がない、したがって、家に隠れたり、特別なところに入所させたり、世間からかくそうとしたり、学校で特別学級をつくったり、入院施設を作らない。広く、社会で、なんとか活躍してもらおうとしたり、この方がたを様々な職種がサポートしようといつも議論をし、大変な時間も費やしている。

{ ドクターツアーについて }

マレーシアのKL (クアラルンプール) とペナンを回ってきました。今回はとても多くのドクターに会って、大変貴重な経験をすることができました。かならずや日常の診療において皆様に還元できるものと信じています。

08/12、Prince Court Medical center; ①Dr.Shyamala Rao,②Zuriana Binti Ismail/AIA PANEL Clinic ; ③Dr. Vinod Kumar Perhakaran ,
Campus in House Clinic (Nottingham 大学); ④Dr. Pupsha GP (総合診療医)、
⑤ Ms.Shamini Nadarajan Head of Wellbeing and Learning Support、⑥
Dr.Puspamary/Matthewsmedical/officer 其他 大勢

Clinic of General Therapy; Dr. Ganga 電気刺激療法

08/13 クアラルンプール・デイラジャ・ロータリークラブにて

⑧会長 MN Halm, PP ChanKam Fatt,⑨Dr.Prakashi Rao,⑩ppLois RK Paul,⑪
Gerald Mahendran Lee・IT specialist,⑫Dr.Jhon Thava,
⑬Attan Akmar,TA E 商社、⑭Yamada Shimoyama,技術者
⑮AssistantGovernor D3300 name unknown 其他 大勢、

08/14 TEJANI Clinic 16hours; ⑯Dr Jitendra S. Tejani

08/15 Penan Government Hospital (国立病院);⑰⑱ met 2 woman Drs,
Penan Adventist General H救急部;⑲看護師(男性)と⑳Dr.Y &㉑Dr Loh Wei Chieh
以上 見にくくてごめんなさい、後日 院内の掲示板で詳しく説明いたします。

8月の院長の活動紹介

1/ Sanjay 氏とマレーシア・ドクターツアーの計画を具体化 当院にて
2/ 日暮町内会 盆踊り ドクターとして急病に備える 白髭神社にて
11/から 16/まで マレーシア (KLからペナンへ) ドクターツアー

15/ペナンにて 院長、不覚にも、海辺の大きな石でできた小山から滑り落ち仙椎を骨折してしまいました。したがって今後約1か月半(9月いっぱい) 傷害部の安静を保つことになりました。短いミーティング、クリニックの外来を除き極力外出を控えます。素早い動きができないため、ご迷惑をおかけいたしますが、よろしく願いいたします。

21/ 松戸中央RC 経済産業省政策室長M・H氏(女性) 女性社会進出について

22/ 松戸整形外科 受診、

30/ 松戸市小児夜間急病センター 夜間勤務、

市立病院にて

秋を感じられる気候が待ち遠しく
思っていました。

9月担当 青木

